

認定 NPO 法人 たすけあいの会ふれあいネットまつど 会報 第 43 号

え が お

発行所:松戸市東平賀7番地の2 電話:047-346-0866 E-mail:fnm2011@r4.dion.ne.jp

東日本大震災復興支援活動

にぎやかに“ふれあい夏祭り”開く



ふれあいネットまつどの事務所前駐車場を会場に開催。



西村泰久さん(写真車いす)のバルーンアートは子どもたちに大好評

ふれあい夏祭り会場には提灯が飾られ、屋台用のテント4張り、復興支援活動でいつも使用しているパラソルも10本立てられ、やきそば200円、生ビール300円など低価格のこともあつて開始の午後4時前から多くの来場者がつめかけました。
屋内会場の「ふれあいの居場所みんなんち」では歌声喫茶を開催。音楽家鈴木信成さんのギターに合わせて昭和の

お買い上げ代金はすべて支援基金へ
夏やすみ最後の土曜日の8月25日、ふれあいネットまつど事務所前駐車場を会場に「東日本大震災復興支援ふれあい夏祭り」を開催。会員・利用者・地域のみなさんでにぎわいました。やきそばなどの売上代金9万3100円はすべて宮城県東松島市ひびき工業団地仮設住宅の自治会活動資金に送られます。



みんなんちでは鈴木信成さんのギターの音に乗せて歌声喫茶開催

名曲を歌い、楽しみました。
浴衣姿の中高生のボランティア5人が担当した子どもコーナーでは、ヨーヨーつり・スーパースポールすくい、西村泰久さんのバルーンアートに子ども連れの家族が長蛇の列。
ふれあい夏祭りは、会員で実行委員会を作り、月刊ニュースふれあいだよりなどで広くボランティアアスタップを募集して実施したものです。当日は会員だけでなく東日本大震災復興支援活動に参加した市民ボランティアら35人が運営に携わりました。

東日本大震災復興支援夏休み 松戸・東松島子ども交流プロジェクト



8/2～8/3、二泊三日で被災地宮城県東松島市ひびき仮設住宅の子どもたちを松戸とTDLへ招待

8月2日(木)、松戸市青少年会館体育館は子どもたちの歓声に包まれました。宮城県東松島市ひびき工業団地仮設住宅の小中学生ら22人と松戸市馬橋北放課後児童クラブの40人は大道芸のパフォーマンスに合わせて体全体を動かして汗びっしょり。その周りには、このプロジェクトを支援する県立六実高校生22人、市民のボランティアが21人と体育館には100人を超える熱気が充満。松戸と東松島の心が一つに結ばれる大交流会となりました。

ふれあいネットまつどとNPO法人子どもまつどとの共同プロジェクトは、①東日本大震災で被災し仮設住宅での生活を強いられている東松島市の子どもたちの楽しい夏休み体験②被災地の子どもとの交流を通じて松戸の子どもが被災へ寄せる心をはぐくむことを目的に、8月2日から4日まで取り組まれました。

また、このプロジェクトは松戸市の後援と財団法人JKA「被災者に対する生活支援活動補助事業の競輪公益資金による補助金」交付を受けて実施されました。

第1日 - 8/2(木) 宮城県東松島市から松戸市へ



大道芸を食い入るように見入る子どもたち



竹内恵里さんのリードで楽しく歌う



宿舎ではボランティアとバーベキュー大会

第2日 - 8/3(金) 松戸市からディズニーランドへ



東京ディズニーランドでは東松島の子どもたちとボランティアがグループを作って園内をまわり、終日楽しみました。



プロジェクト支援の募金とお世話役で支えていただいたボランティアのみなさん、ありがとうございました。



東松島の子どもが到着する3時間前から冷房のない体育館で会場準備をする千葉県立六実高校のボランティアのみなさん。

夏休み松戸・東松島子ども交流プロジェクトを支えたのは多くのサポーターのみなさんです。毎日新聞・東京新聞、広報まつど、チラシポスターなどでこのプロジェクトを知った方からの問い合わせが相次ぎ、2日・3日のお世話役活動に参加した合計46人のボランティア。なかでも千葉県立六実高校の学生が25人参加、松戸と東松島の子どもをなごませつなぐ役をしっかりと果たしてくれました。資金で協力いただいた方は49・2団体2企業にのびりました。ご協力ありがとうございました。プロジェクト報告集をご希望の方は両NPOの事務所へ。



子どもたちの間にボランティアが入りバルーンづくりを手伝い、松戸と東松島の子どもをつなぐボランティア



馬橋北放課後児童クラブに移動し、松戸と東松島の子どもたちがボランティアと一緒に楽しく歌う

【謝辞】

子どもは社会の希望、未来をつくる力だと実感

認定NPO法人

たすけあいの会ふれあいネットまつど

代表 島田喜七

子どもは社会の希望であり未来をつくる力です。ひびき仮設の子どもたちが生き生きと学び・遊び・生活をする。子どもたちが元気になること、健やかに成長すること。これは彼ら自身の願いであるとともに、私たち大人たちを勇気づけ、復興への大きな力になること。夏休み松戸・東松島子ども交流プロジェクトはこのことが真実であることを教えてくれました。

ことは5月の復興支援第12回パラスール喫茶活動に私が参加したことから始まります。仮設の皆さんとの懇談の中で仮設の子どもたちが自由にのびのびと生活できない環境にあり、夏休みにもどこへも連れていってやれないというのが親御さんたちの嘆きだという話を聞きました。帰りのバスの車中で「あの子供たちを夏休みにディズニールランドに連れて行ってやれないだろうか」と事務局スタッフに漏らしました。

このあとの事業展開には目を見張るものがありました。早速プロジェクトを立ち上げ、子ども分野のNPO子どもまつどまつどさんと共同開催化、松戸市役所記者クラブで記者発表をして全国紙2紙記事掲載等々、アイデアの限りを尽くして一生懸命取り組んでいたスタッフのみなさんに脱帽です。だからこそ100人を超えるボランティアも協力したのだと思います。知恵と手間ひまと熱意の賜です。

これからも復興支援活動は続きます。この成果を糧として被災地のみなさんに心を寄せる活動を進めて参りましょう。今後よろしく願います。



「絵手紙」などなど、趣味の講座に参加して、そこから生きがいを探る方や講座つながりで気の合う人を探したいなど目的はさまざまですが、それぞれの講座に笑い声も聞こえ、和やかな雰囲気の中で講座を楽しまれています。また、学びたい人には今後「認知症を学ぶ」「初心者パソコン教室」「介護のイロハ」「松戸市出前講座」「救急法」などを学びながら地域社会に参画する意欲や実践力を培います。趣味の講座や開催内容につきましては毎月お届けしている「みんなんち日記」のカレンダーの中でお知らせしております。一度、講座を体験してみたいという方には体験講座もありますのでお問い合わせください。なお、みんなんちで講座の指導をして頂ける方、

ぜひご協力お願いいたします。

ミニデイサービス

要支援2くらいまでの方を対象に、制度サービスでは当てはまらないなど、在宅で弱っている方や、単身で家に閉じこもりぎみになっている方などに「みんなんち」に来ていただき、お散歩やお買いもの、体操や趣味の講座などを受けながら地域の方と一緒に過ごして頂く場として「ミニデイまてばしい」を6月からスタートいたしました。「ミニデイまてばしい」の名前は、ふれあいネットまつどの事務所前の道路名「まてばしい通り」から付けた名称です。第一回開催のミニデイでは送迎を引き受けていただいた会員方々のご協力で「ゆいの花公園」におでかけをし、初夏の花々を堪能 することができました。その後の開催では、ハーモニカ演奏でナツメロ、イオンで外食、あけぼの山のヒマワリ見学、有名店のラーメンを訪ねるなどを行いました。今後も出来る限り外出に重点をおき開催していく予

定です。

みんなんち日記

会員を始め多くの方々に「みんなんち」を知っていただくための広報として、オープン前から「みんなんち日記」を毎月発行しています。この日記は、一面を、みんなんちで行われた各講座やイベントなどの報告として、二面に、ふれあい喫茶の開催日、ミニデイや趣味の講座のスケジュールを案内しています。三面では各講座の詳しい説明や申し込み方法など、四面ではトピックスやスタッフの素直な感想など盛り沢山です。オープンしてから100日目を迎えてみんなんち新聞にもぜひ、ご意見を

お送りください。

みんなんちのブログ

みんなんちの話題やトピックス、周辺のイベントや季節の花々の紹介など、新しい情報を千葉県を主として全世界にブログから発信しています。既に地域の方からの投稿も断続的にあり、新聞では伝えきれない内容を補足しています。各講座の予約申し込み可能、パソコンや携帯電話からアクセスが可能です。ぜひ訪問してみてください。

ブログの検索はみんなんち日記

オープンから100日
地域で期待される居場所

7月から10月にかけて、ふれあいの居場所「みんなんち」は自身の利用者やNPOで実際に居場所に関わっている関係者の見学が中心となり利用されています。本格的な夏の到来とともに、みんなんちを訪ねる地域の高齢者がや少ななりましたが、その中で、7月20日付けの「地域新聞」一面のみんなんち紹介記事は明るい材料となりました。新聞発行日の直後から電話での問い合わせが相次ぎ、施設の利用方法や講座の開催申し込み方法など、問い合わせが頻発しました。実際に見学に来られる方も多くボランティアスタッフも嬉しい悲鳴となりました。

5月22日のオープンから80日、会員の利用者はおおむね「嬉しい感」があり、「覗いてみよう」というような興味本位の訪問者は少ななくなりましたが、この居場所の運営のお手伝いをしたい、会のボランティアに加入したいなどの協力者も少なくなく、この80日間でのそうした訪問者の「声」を大事にし、今後とも地域で期待される居場所にならねばならないと願うばかりです。



フラワーアレンジメントに参加した子供たち



みんなんち日記5号 (平成 24年 8月 10日)

9月号第5号
千葉県松戸市東平賀
7番地の2
電話 047-346-0866

みんなんち日記
認定NPO 法人たすけあいの会ふれあいネットまつど

4月

事務局だより

運転者講習会を開催 交通ルールを再確認

4月21日(土)、ちばコープ新松戸店2F集会室で運転者講習会を開催。ふれあいネットまつどの中核的活動である福祉有償運送(移動サービス)にたずさわるボランティア会員25人が出席。今回は道路交通法についてインストラクターの仲洋司さんの講義のあと演習。運転免許を昔に取得した人がほとんどなので、取得時の道路交通法と現在の道路交通法では違うことも多く、この機会に変わった部分を再確認。その後グループに分かれて熱心に討議しました。



5月

1泊2日ボランティアバスを運行 仮設住宅支援活動を行う

福島県原発被災仮設住宅も

5月12日(土) 13日(日)、二泊三日のボランティアバスを運行。今回は市民も含め30名が参加し、島田喜七ふれあいネットまつど代表も電動車いすで参加、支援活動を行いました(写真)。1日目は福島原発被災の浪江町の仮設住宅(福島市内)を訪問しました。仮設住宅の集会所には居住者の皆さん50名が集まり、即席のお茶会を開催。踊りも飛び出し、最後は全員で唱歌「ふるさと」を合唱。2日目は宮城県東松島市ひびき工業団地仮設住宅でパラソル喫茶を行いました。やさそばを作り、パラソルの下、居住者の皆さんと懇談。被災者のお話に耳を傾けました。屋内では子どもの居場所「子どもフェスティバル」を行いスライムづくりが楽しみました。



電動車椅子でウエイター役の島田喜七代表

通常総会を開催

永年功労会員を表彰

5月26日(土) 小原市民センターを会場に2012年度通常総会を開催。2011年度活動報告・決算、2012年度活動計画・予算など6議案を審議、満場一致で採択しました。また、総会後には会設立15周年を記念して制定された永年功労会員制度にもとづき、表彰式が行われ、10人の方が表彰されました。 ※総会で議決された活動報告・計画、決算・予算についてはホームページをご覧ください



訪問介護

愛・あいⅡこまわり福祉センター

良質なサービスとこまわりのきくサービスをモットーに10年以上のべらんヘルパーがたくさんいます。ターミナルまで心をこめて介護させていただきます。

ヘルパー募集中

〒271-0064 松戸市上本郷 4189
TEL047-360-6360 FAX047-360-6388

6月

認定NPO法人に 千葉県内6番目

認定特定非営利活動法人(認定NPO法人)について、6月1日付で国税庁より認定がおりました。全国253番目、千葉県内6番目、松戸市内では初めてです。会員・法人双方にとって税制上の優遇措置が適用され、社会的信用力が高まることなどを目的に、昨年10月の理事会で申請を決定し、会計・管理・運営上の整備を行って取り組んできたもの。 会では今後、認定NPO法人としてより公益性の高い活動と運営を目指し、寄附税制上のメリットを活かす取り組みを予定。

また寄附にともなう税額控除申告の仕方などの研修会を確定申告の前に行います。

11/17(土) 会設立15周年・認定NPO記念市民講演会を開催

堀田力氏を招いて「今こそ支え合い助け合いのある地域づくりを」

東京地検特捜部検事としてロッキード事件を捜査、起訴後公判検事として田中角栄元首相に論告求刑をした。法務省最高検察庁検事を最後に退官し、弁護士、財団法人さわやか福祉財団理事長として活動。ふれあいボランティア活動、ふれあいの居場所、地域包括ケアシステムを提唱し、活躍中。



11月17日(土)午後2時~午後4時

流通経済大学新松戸キャンパス

■ 申込先着 300名 ■ 入場無料

■ 申込受付 10月1日(月)より

※詳細は10月発行ふれあいだより/ホームページでご確認ください(問合せ:047-346-2052 堀田力講演会事務局)

会設立15周年記念事業

ふれあいネットまつどのキャラクター
マーク・ロゴタイプを募集

■募集内容

設立十五周年を記念して認定NPO法人たすけあいの会ふれあいネットまつどの2つのミッションと活動を視覚的に表現する①キャラクターデザイン②マーク③ロゴタイプを募集します。詳細はホームページを参照ください。

■募集期限 10月12日(金)

■応募資格 会の活動と理念に共鳴いたいただける方

■採用された方には規定のデザイン料をお支払します。

千葉県福祉・介護人材確保対策事業を受託 『福祉有償運送運転者資格取得研修』を実施

千葉県は福祉・介護人材の確保を図るために、「福祉・介護人材確保対策事業」の実施事業者を募集していましたが、ふれあいネットまつどは、「潜在的有資格者等再就業促進事業」を受託。次の内容で受講生を募集します。「潜在的有資格者」とは、介護福祉士などの介護資格を持ちながら介護の仕事についていない方を指します。

■取得資格

福祉有償運送運転者資格(介護保険訪問介護等の通院等乗降介助の介護輸送ができます)

■開催日時

11月2日(土)3日(日)9時半~17時半

■開催会場

松戸市小金北市民センター

■応募資格

介護福祉士などの介護資格保持者で現在介護の仕事についていない方(定員20人)

■応募方法

詳しくはホームページをご覧ください。

医療法人社団弥生会

旭神経内科リハビリテーション病院

<http://www.yayoikai.or.jp>

松戸市栗ヶ沢 789-10 TEL047-385-5566

受診・入院等のお問い合わせは相談室までご連絡ください



併設施設:介護老人保健施設/
通所介護/訪問看護/訪問介
護/居宅支援事業所/小金原
地区在宅介護支援センター

介護保険工事件数が 5,000件を超えました。
この経験により、最適な改修プランや用具レンタル
用具販売をトータルでご提案致します。

介護住宅リフォームの専門店
福祉用具レンタル・販売

(有)ジェイエム建築企画

本店/〒271-0074 千葉県松戸市緑ヶ丘2-257-2
TEL:047-330-0022 FAX:047-330-0027
柏事務所/〒277-0852 千葉県柏市旭町7-1-10-202
TEL:04-7141-6267 FAX:04-7141-6268

私が育った故郷の秋

セミ・オニヤンマを 追いかけた千里山

大阪府



萩原 直大

(2012年5月入会)

私の故郷は大阪の吹田市千里山というところですが、知る人は少ないでしょう。でも、大阪万博、千里ニュータウンの隣り、といえど分かる人は多いと思います。私に言わせると、それらが我が故郷の隣りなのですが、というのも、私が小さい頃、オニヤンマ、甲の虫、セミを追いかけて廻ったのが後に万博会場、ニュータウンになったのですから。松戸が江戸の食を賄っていたとしたら、我が故郷は浪花のそれを担っていたのです。これからの時



子供の頃の市川はすでに東京のベットタウン化していたが、山があり森があり自然がふんだんにあった。新設の小学校の裏に野草の

期、松戸の郊外ではドングリ、栗、柿の実が路上に散乱し、秋の夜長の色々の虫の音が聞かれますが、我が故郷は昔はともかく、今はすっかり都会となっていました。

千葉県

江戸川と市川の森に 人生の秋を生きる



鈴木 由紀子

(2012年6月入会)

私は市川で育ち一度東京に出て又戻り今現在までズーと市川に住み続けている。盆、暮れに飛行機や列車で心ワクワクしながら帰省する故郷はないけれども、もし故郷はと問われれば迷うことなく市川と答える。

生い茂る三角山があり、毎日学校が終わるとかけめぐった。本当に小さな川がありザリガニを見つけた時には尾をそのまま食べていた友。(この池は後に、じゅん菜池として復元) 江戸川の土手に座り友と遠い未来についてとつともなく大きな夢を熱く語り合い大志を抱いた。里見公園も現在の様に整備されたものではなく、防空壕等いくつも放置され子供の恰好の遊び場となっていた。秋にはいちようやかえで等が色とりどりに見事に紅葉し、落ち葉を拾い葉として大人になっても使っていた。東京から電車で江戸川を渡る時、市川の森が見えるとホットしたのを覚えている。今現在みんな歩いてでも行ける場所なのにどこにも何の面影もすでに残っていない。それは私自身にもあてはまることなのだ。夢や大志はどこに行ってしまったのだろうかと思う。今私はまさに人生の秋の中に居る。照り輝く紅葉も実りたわわな果実も何もないけれど、自分の足で本音で生きてきた人生がある。決して易しい生き方ではなかったけれど、後悔はしていない。冬を目前にし、人生の終焉に向かつて気が付かなかったでは済まされな無防備な自分に愕然とする。今私は、自分自身の冬を迎える為に新しい環境の中で自問自答しながら挑戦している。

東平賀7番地 編集局

日本勢による史上最多、38個のメダル獲得で盛り上がったロンドン五輪、その余熱で東京五輪開催を求める声が高らかになってきました。2020年の開催地決定まであと一年はどのようなやらパラリンピック発揚の地で行われたパラリンピック「車いすの天才宇宙物理学者」スチーブン・キング博士は(なぜ宇宙が存在するのかを不思議に思う)と開催で語りかけた、体に障害を持つ人たちも参加し「ミラノの旅」を通じてありのままの自分を受け入れることの大切さを訴えた■事務所に近い北小金駅北口に、間もなくエレベーターが完成します、歩行困難者や車いす利用者などには便利になります■松戸市二ツ木に体調一、2メートルのイグアナ一匹が逃げ出した、南米原産の「グリーンイグアナ」とか、記録的な猛暑が続いてビックリしたのか、ちなみに夏日25℃以上、真夏日とは30℃以上、猛暑は35℃以上のこと、暑いのは秋分の日あたりまでです、ガマンガマン

編集局 赤とんぼ